

電子チェンバロの集い ミュージアムサロンコンサート



10月1日(土)午後2時から4時30分まで、天空ホールにて「第2回電子チェンバロの集い・ミュージアムサロンコンサート」を開催しました。公益財団法人ローランド芸術文化振興財団との共催で、昨年の10月に引き続き今回が2回目。浜松市に本社や工場がある電子楽器メーカーローランド株式会社が、2008年に開発し発売した電子チェンバロC-30を使って、ソロやアンサンブルで全国から応募され審査をパスしたアマチュア音楽家7組12人が腕前を披露しました。東は東京、西は島根県松江市からの参加です。この電子チェンバロには、音源データのひとつに楽器博物館が所蔵する1765年製パリのチェンバロの音が使われていることから、チェンバロ愛好家の市民参加のコンサートをしてみようと、博物館とローランド芸術文化振興財団が企画して始まったものです。

トップバッターは浜松市の秋田真彦さん。自身で編曲した「埴生の宿」「スカポロー・フェア」ほか5曲を演奏。2番目は昨年も出場されたオカリナのえんじろうさんとチェンバロの亮子さんのデュオ「音心」のお2人。浜松や豊橋を中心に演奏活動をされています。曲目は「アルルの女からメヌエット」えんじろう作曲の「カナリア」ほか5曲。続いて浜松市の安藤智子さんが、ブクステフデの「組曲第4番」とラモールの「ガヴォットと6ドゥブル」でバロック作品を独奏。4番目は京都市から昨年引き

続き出演のソプラノ小田肇子さんに、チェンバロの荒井実千子さんとヘンデル「涙の流れるままに」、イギリス民謡「グリーン・スリープス」ほか6曲。5番目はお隣の町愛知県豊橋市から小学4年生の海老原厚樹君。バッハの「イタリア協奏曲」と「プレリュード」を見事に演奏してくれました。お母さんもアコーディオンで加わって「アヴェ・マリア」で安らぎの共演。「6番目はチェンバロ野嶋礼子、フルート川向博史、チェロ高木和のトリオ「ウインズログ」の皆さん。バッハの「フルートソナタ」「アヴェ・マリア」ほかを、昨年同様素敵なアンサンブルで披露して下さいました。最後は遠く島根県松江市から2度目の参加で溝田陽子さん。デュプリ「ロンド」、クーブラン「輝かしい女、またはポンタン婦人」ほかフランスの作品3曲を演奏。優雅な雰囲気をかもし出してくださいました。そして締めくくりはゲストでチェンバロ三重奏アンサンブル「アクトトリニティ」の素晴らしい演奏。チェンバロ水永牧子、ヴァイオリン磯絵里子、チェロ水谷川優子でラモール「クラヴサン・コンセル」、ピアソラ「ブエノスアイレスの春」ほか6曲を独特のサウンドとこなれたアンサンブルで楽しませてくださいました。

チェンバロは高価でメンテナンスも大変手間のかかる楽器ですが、この電子チェンバロのおかげで多くの人がチェンバロの音楽を楽しめるようになりました。

レクチャーコンサート

「チター～森のささやき・森の優しさ～」

チターはドイツ、オーストリア、スイスのアルプス地方で古くから育まれている弦楽器です。映画「第三の男」のテーマ曲で使用され、一躍世界中に知れ渡りました。一見シンプルな楽器ですが、一台で旋律と伴奏を同時に演奏することができ、6オクターブ程の音域を持っています。出演は、日本チター協会会長で、チター奏者の内藤敏子さんと門下生の皆さんで、ソロ、二重奏、アンサンブルと多彩なプログラム。打弦楽器ハックブレッドやマンドリン、ウィンドチャイムも加わって、スイスのエンガディーン地方に伝わる古謡や、「雪山のレントラー」「ヴェルト湖のほどり」など18曲を演奏しました。また、演奏の合間には、内藤さんのトークを楽しみました。「第三の男」の音楽と演奏を担当したアントン・カラス氏と親交があったそうで、映画にまつわるエピソードや、「森や湖のほどりで演奏すると小鳥が集まってさえずり始めるんですよ」という内藤さんのお話にも聴衆も聞き入っていました。



日時：平成23年9月9日（金） 19:00～20:30

会場：展示室天空ホール

出演：内藤敏子 石原みどり 井上ふみ子 工藤恵美子
白尾美佳 菅野さおり 徳田佐知子 藤森美月
宮城京子 芳山千代 入場者：82人



日時：平成23年9月11日（日） 18:30～20:00

会場：展示室天空ホール

出演：ギーター・クンチャナ 小林江美 小谷野哲郎 萩原香織
中野愛子 入場者：50人

レクチャーコンサート

「青銅の煌き～パリ・ガムランの音世界～」

青銅のオーケストラとして知られるインドネシア・バリ島のガムランの演奏と舞踊を楽しみました。ガムランとは青銅製の打楽器群の総称で、その音楽もまたガムランと呼びます。ジャワ島など他の地域にもガムランがありますが、バリ島のものはスピード感のある華やかな演奏が特徴です。

このガムランに合わせて「トベン」という仮面舞踊が踊られました。一人の踊り手が仮面を取り替えて様々なキャラクターを踊り分けるため非常に高度な技術が必要とされる踊りです。今回は一人で三役を演じ分けていましたが、仮面が変わると動作やしぐさもかわり、まったく別人が演じているようでした。

また、女性2人の「チェンドラワシ」という極楽鳥が黄金の羽を広げて求愛する様を描いた舞踊では、華やかな衣装とダイナミックな踊りに息をのみました。

少しの間ですが、実際にバリ島に行ったような気分を味わうことができました。



日時：平成23年10月30日（日） 18:30～20:00

会場：展示室天空ホール

出演：東流二絃琴東会 入場者：45人

レクチャーコンサート

「江戸の風流～東流二絃琴～」

東流二絃琴は、藤舎蘆船という人物が八雲琴をもとに明治の初めころに考案したお琴と、その楽派の名称です。東流二絃琴は長明の伴奏に使用されたり、演奏の手軽さから婦人の間で人気を集めました。

東流二絃琴は、細長い桐の胴に2本の弦が張ってあります。この2本の弦は同じ高さの音に調律をしてあり、爪でかき鳴らして音を出します。

演奏会では東流二絃琴東会により「さくら」「お江戸日本橋」「風」などが演奏されました。会場には、素朴で趣のある音色が響きます。また、途中では二絃琴のもととなった楽器、八雲琴を使用して「五十鈴川」の演奏も聴きました。同じ二絃琴である東流二絃琴と八雲琴の音の違いにお客様も驚いていました。

後半は、東流二絃琴を体験する時間も設けられ、実際に爪をつけて音を出す楽しいひとときとなりました。

イヴニングサロン

「古楽の愉しみ二夜」



日時：平成 23 年 9 月 23 日（金）18:45～20:15 入場者：66 人
平成 23 年 9 月 24 日（土）18:30～20:00 入場者：48 人
会場：展示室天空ホール 出演：有田正広 針塚由衣
國見権弓 西尾悠一 吉崎恭佳 釣巴留香 藤田友里瑛
岩井春菜 二葉円香 淡路方子 染田真実子

この講座は平成 21 年度から開催している明治大学名誉教授、江波戸昭さんによる音と映像を通しての民族音楽連続講座です。毎年異なる地域をとりあげていますが、今年度はアフリカです。第 1 回は「海岸に花開いたスワヒリ文化」。スワヒリ文化とは東アフリカの海岸及びその周辺の島々で開花した文化のことで、公用語として主に「スワヒリ語」が使われています。

紀元前からインド洋を使った貿易があり、海を渡って東南アジアからアフリカへと様々なものが持ち込まれました。その中に音楽や楽器といったものも含まれ、特にマレーシアの竹製の楽器「コリトン」とマダガスカル「ヴァリハ」を例に楽器の特徴や類似点があげられました。実際に映像や音を聞くことでなるほどといった発見、納得があり、受講された方もうなずきながら耳を傾けていました。

音楽や楽器の話を中心に歴史、宗教、民族のお話もあり大変興味深い講座で、第 2 回以降もアフリカ大陸各地の、河川とオアシスを動脈として形成された輝かしい文化を紹介していきます。

楽器博物館友の会コンサート「カンテレ」



日時：平成 23 年 10 月 15 日（土）17:45～18:45
会場：展示室天空ホール
出演：あらひろこ 入場者：58 人

日本におけるヨーロッパ古楽教育の最高峰のひとつであり、数々の名演奏家を世に出している桐朋学園大学音楽学部との共催で、「古楽の愉しみ」と題した二夜連続コンサートを開催しました。世界的なフルート奏者である有田正広さんとその教えを受けている学生、研究生、卒業生 11 人による、バロック・フルート、バロック・ヴァイオリン、リコーダー、チェンバロでのソロやアンサンブルで、クーブランのコンセル、テレマンの「2 本のリコーダーのためのトリオソナタ」、バッハの「平均律クラヴィア曲集第 2 巻から第 6 番」、ブラヴェのフルート小品などを楽しみました。ボワモルティエの「5 本のフルートのための協奏曲」は、バロック・フルート奏者が 5 人必要ということもあって、なかなか聴く機会の無い作品。コンセルは全員総出演で圧巻の演奏。楽器博物館所蔵の 1791 年カークマン製（ロンドン）オリジナルチェンバロや 17 世紀ベルリンのクワンツ型フルート、有田さん所蔵の象牙製フルートなども演奏され、少し緊張してはいるものの、若い音楽家の瑞々しい演奏で、古楽の夜を楽しみました。

講座

「アフリカ民族音楽紀行」



日時：平成 23 年 10 月 8 日（土）14:00～16:00
会場：楽器博物館展示室 講師：江波戸昭 受講者：15 人

友の会主催による友の会会員限定の「友の会コンサート」。今回は、あらひろこさんによるカンテレの演奏です。カンテレは、日本の楽器でいうとお琴のような、木製の胴に張った弦を爪弾いて演奏されるフィンランドの弦楽器です。古くは 5 絃の小さなものから、現在は 30 絃以上のカンテレもあります。

あらさんが 39 絃の大きなカンテレを爪弾くと、天空ホールには澄んだ心地よい響きが一気に広がります。次に 5 絃の小さなカンテレを抱えて、フィンランドに伝わる口承叙事詩「カレワラ」に登場するカンテレのお話をされました。カレワラによると、きこりに枝を切られ皮をはがれて泣いていた樺の木を英雄ワイナモイネンが哀れに思い、これを楽器として生まれ変わらせ、それに乙女から授かった髪の毛を弦に張ってできたものがカンテレなのだそうです。

そして、フィンランドやスウェーデンの伝承曲のほか、あらさんが初めてフィンランドを訪れたときの印象を作曲した「遠い旅の記憶」などを演奏。この日、外はあいにくの雨模様でしたが、会場はカンテレの爽やかな音色に包まれました。

NHK「大!天才てれびくん」生中継

NHKの番組「大!天才てれびくん」が楽器博物館へやってきました。タレントの山本高広さんと“テレビ戦士”の勝隆一さんがアフリカのウォータードラムや18世紀フランスのチェンバロなどを紹介したり、市内在住の小学校5年生とお母さんの親子バンドが演奏してくれたり、とても楽しい番組でした。この番組は生中継。数日前から準備をし、収録中はドキドキしていましたが、無事に終わったときは職員一同ほっとしました。博物館にはテレビでは紹介しきれない楽器がまだまだたくさんありますので、ぜひ見にきてくださいね。



オリジナルCD新発売

好評のオリジナルCDに新作3枚が加わりました。No.34「ヴィオラ・ダ・ガンバ・コンソート ～ 16-17世紀イギリス音楽の栄光～」は、ヘンリー・パーセルやジョン・ダウランドなどの作曲家による珠玉のイギリス音楽を、ザ・ロイヤル・コンソートが、トレブル、テノール、バスのヴィオラ・ダ・ガンバで合奏します。

No.35「ショパン ピアノ協奏曲第2番室内楽版」は、1830年製ブレイエル・ピアノを、名手小倉貴久子さんが弦楽五重奏と合わせます。



No.36「デュフリ全集I～ 18世紀フランスの雅～」は、チェンバロの名手、中野振一郎さんが18世紀に生きた作曲家デュフリの楽曲を、同じく18世紀にブランシェが製作したチェンバロで演奏します。いずれのCDも当館の所蔵楽器を使用した、ここでしか実現しなかった貴重な収録です。レコード芸術誌特選盤・準特選盤になりました。ぜひおきき下さい。

当館ショップ (TEL 053-451-0300)、Amazon.jpなどで好評発売中

◆これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日1時間毎
チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- レクチャーコンサート
「静寂の音響～クラヴィコードの世界～」
12/3(土)18:45 天空ホール 出演:宮本とも子
「昨日・今日・明日～リードオルガンに夢をのせて～」
12/14(水)19:00 天空ホール 出演:鈴木開、鈴木重子
「森の響き・ヴァルトホルン」
1/21(土)14:00 音楽工房ホール
出演:塚田聡、小倉貴久子
「フラメンコ～ギターと歌と踊りの恍惚～」
1/25(水)19:00 音楽工房ホール
出演:鈴木尚、阿部真、大塚友美
- イブニングサロン
「無伴奏ヴァイオリン・パルティータ」
12/7(水)19:00 天空ホール 出演:戸田薫
「電子オルガンとオペラアリアの夕べ」
12/23(金)19:00 天空ホール 出演:柳澤利佳、鈴木亜美
- 講座「楽器の中の聖と俗」(全3回)
1/24(火) 第51回「石川県輪島 御陣乗太鼓/佐賀県鹿島 面浮立」
2/7(火) 第52回「三重県津 唐人踊り/三重県鈴鹿 唐人踊り/岡山県牛窓 唐子踊り」
2/21(火) 第53回「鹿児島県いちき串木野 市来の七夕踊り/鹿児島県志布志 ボゼ祭り」
講師:西岡信雄 いずれも18:45～20:15 楽器博物館展示室
「民族楽器による音楽セラピー・パート2」
1/29(日)14:00～16:00 研修交流センター
講師:ロビン・ロイド

◆博物館日誌

- 9/9(金) レクチャーコンサート
「テター～森のささやき・森の優しさ～」 19:00
天空ホール 出演:内藤敬子ほか 入場者:82人
- 9/11(日) レクチャーコンサート
「青銅の煌き～バリ・ガムランの音世界～」 18:30
天空ホール 出演:ギター・クンチャナ
入場者:50人
- 9/23(金) イブニングサロン
「古楽の愉しみ」 18:45 天空ホール
出演:有田正広、桐朋学園大学音楽学部古楽器専攻学生・卒業生 入場者:66人
- 9/24(土) イブニングサロン
「古楽の愉しみ」 18:30 天空ホール
出演:有田正広、桐朋学園大学音楽学部古楽器専攻学生・卒業生 入場者:48人
- 10/1(土) ミュージアムサロン
「第2回 電子チェンバロの集い」 14:00～17:00
天空ホール 出演:7組12人 ゲスト:アクア・トリニティ(水永牧子、磯崎里子、水谷川優子)
参加者:198人
- 10/8(土) 講座「アフリカ民族音楽紀行」
第1回「海岸に花開いたスワヒリ文化」 14:00
展示室 講師:江波戸昭 参加者:15人
- 10/30(日) レクチャーコンサート
「江戸の風流～東流二絃琴～」 18:30 天空ホール
出演:東流二絃琴楽会 入場者:45人

利用案内

常設展観覧料:大人400円 高校生200円
中学生以下・障害者・高齢者(70歳以上)は無料
開館時間:9:30～17:00
休館日:毎月第2・4水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、
その他施設点検等のための臨時休館日

浜松市楽器博物館だより

平成23年11月1日発行 No.66
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp
URL <http://www.gakkihaku.jp/>

お知らせ:「浜松市楽器博物館だより」は、ホームページからも見る您可以通过。また、ホームページでは最新のイベント情報も紹介しています。ぜひご覧ください。